

令和6年度 最上地区中学校総合体育大会柔道競技 実施要項

- 1 主 催 最上地区中学校体育連盟
2 主 管 最上地区中学校体育連盟柔道専門部
3 期 日 令和6年6月16日（日）
4 会 場 戸沢村立戸沢学園 戸沢村蔵岡2905-7（電話72-2506）
5 日 程 8:00 開場
8:10 計量（団体戦、個人戦）9:10まで
9:10 審判・監督会議
9:40 諸連絡
10:00 競技開始（男女団体戦、男女個人戦）
15:00 競技終了 ※開閉会式（表彰含む）は行わない

6 種 目

(1) 団体戦 男子、女子

(2) 個人戦 男子8階級、女子8階級

- 男子 ・50kg級（50kg以下）・55kg級（50kg超～55kg以下）・60kg級（55kg超～60kg以下）
・66kg級（60kg超～66kg以下）・73kg級（66kg超～73kg以下）・81kg級（73kg超～81kg以下）
・90kg級（81kg超～90kg以下）・90kg超級（90kg超）
女子 ・40kg級（40kg以下）・44kg級（40kg超～44kg以下）・48kg級（44kg超～48kg以下）
・52kg級（48kg超～52kg以下）・57kg級（52kg超～57kg以下）・63kg級（57kg超～63kg以下）
・70kg級（63kg超～70kg以下）・70kg超級（70kg超）

7 参加資格

- (1) 本連盟に加盟している中学校の生徒であること。
(2) 大会への参加について、保護者の同意を得ていること。

【参加チーム・人数は下記の通りとする。】

①団体戦

- イ) 各学校とも男女それぞれ1チームの出場とする。
ロ) 1チームの人数は、男子団体は監督1名、コーチ1名、選手5名、補欠3名、計10名、女子団体は監督1名、コーチ1名、選手3名、補欠2名、計7名とする。
ハ) 試合ごとに選手の位置を変えることはできない。
ニ) 団体戦の選手の編成は、最も体重の多い者を大将とし、以下体重順とする。補欠を選手として繰り入れる場合も、大将以下体重順とする。

②個人戦

- イ) 各階級とも出場人数は制限しない。
ロ) 各階級とも申し込むときは、強いほうから順に1, 2, …と校内順位をつける。
ハ) 個人戦においては、令和6年度に県中体連にクラブ登録をしている団体に所属する生徒は、所属する学校の地区中総体から県中総体予選として出場することができる。

8 競技規則

- (1) 審判は、国際柔道連盟試合審判規定（2018施行の新ルール）及び国内における「少年大会特別規定」による。
(2) 勝敗の判定基準は、次の通りとする。

①団体戦の個々の試合においては、「技有」以上または「僅差（『指導』の差が2）」とする。

優劣の成り立ちは以下の通りとし、それに満たない場合は「引き分け」とする。

「一本」＝「反則勝ち」＞「技有」＞「僅差」

チーム間の内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う。代表戦の判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。

②個人戦は「技有」以上又は「僅差（『指導』の差が2）」とする。スコアが同じ場合又は指導の差が1の場合は延長戦（ゴールデンスコア）を行う。

- (3) 試合時間は、3分間（団体、個人とも）とし、延長戦（ゴールデンスコア）は時間無制限とする。

- (4) 柔道衣は白色とし、国際柔道連盟公認又は全日本柔道連盟認証の柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。
有段者は黒帯を用いること。
- (5) 柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
- ①布地は白色（晒、太綾）
- ②サイズは横30～35cm、縦25～30cm
- ③名字（姓）は上側2／3、学校名は下側1／3
- ④書体は太字ゴシック体（明朝、楷書でもよい）で、男子は黒色、女子は赤色とする。
- ⑤縫いつけの場所は後ろ襟から5～10cm下部で、周囲と対角線を強い糸で縫いつけをする。
- (6) 女子の試合者は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規格（平成25年4月1日より施行）に準ずる。
- (7) 計量は以下の通りとする。
- ①団体戦出場者は時間内1回のみとし、個人戦出場者は計量時間内とする。
- ②団体戦計量時の服装は、男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きのみを着用とする。（下着は認める。包帯やサポーター等の着用は一切認めない。）
- ③個人戦の計量では、定められた階級の体重区分にないものは失格とする。（柔道着等の重さは含まない）
- (8) 柔道衣点検は次の要領で行う。その際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- （団体戦） 当該チーム初戦の開始直前に行う。
- （個人戦） 団体戦に出場しない選手については、個人戦の試合直前に行う。
- (9) (公財)全日本柔道連盟からの「脳震盪対応について」を遵守すること。
- (10) 引率者・監督は、当該校の校長・教員・部活動指導員とする。ここでいう部活動指導員は学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。
- (11) コーチは、当該校の教職員、又は外部指導者とする。外部指導者は別に定める「外部指導者に関する規定」を満たしているものとする。
- (12) 本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないものとする。
- (13) 引率者・監督・コーチは(公財)全日本柔道連盟からの「試合場におけるコーチの振る舞い」を熟読し参加する。

9 競技方法

(1) 団体戦

トーナメント戦を行い、優勝を決定する。

トーナメント戦の勝ちチームは、次の順により決定する。

イ) 勝ち数による。

ロ) 勝ち数が同じ時は、内容により決定する。

ハ) ロ) において同等の時は、代表戦を1回行い必ず優劣を決定する。

(2) 個人戦

階級毎にトーナメント戦を行い、それぞれ優勝を決定する。

10 申込方法

(期 日) 5月31日(金) 午後5時必着

(提出先) 新庄市立日新中学校内「最上地区中学校体育連盟事務局」(電話22-1520)

申し込みデータもメールで日新中学校：佐藤清宛で提出すること。

11 表彰

団体戦・個人戦とも1位～3位まで表彰する。（閉会式がないため賞状等は顧問を通して授与する。）

12 その他

- (1) 体重調整のために、健康を害したり、試合の安全や大会運営に支障をきたしたりするような減量行為などは、慎むように十分配慮すること。
- (2) 「柔道MIND」の趣旨を理解し、試合の礼法やマナーについては、選手のみならず、応援の生徒や保護者にも事前に十分指導して参加すること。特に、審判への抗議は厳に慎むこと。
- (3) 本大会のシード権は、団体は前年度地区新人大会ベスト4のチーム、個人は前年度地区総体および地区新人大会ベスト4の選手を対象とする。

(4) その他必要事項については、組み合わせ会や審判監督会議で確認、連絡する。

(5) 個人戦については、クラブチーム所属として参加できる。参加する場合は、所定の手続きを終えていること。